

南成瀬中だより



—2024年度 第9号—

ホームページアドレス <https://machida.schoolweb.ne.jp/1320099>



2025年1月21日発行

共生、自主、貢献
町田市立南成瀬中学校

校長 杉浦 元一

Tel 042 (729) 3441

Fax 042 (721) 4478

Jアラートの避難訓練を国際問題について考えるきっかけに

町田市立南成瀬中学校 校長 杉浦 元一

13日間の冬休みが終わりました。充実した冬休みにはできなかったでしょうか。

12月26日、27日には部活動フェスタが行われました。この行事は、部活動の取組を保護者や地域の方々に紹介するとともに、近隣の小学生に部活動の様子を実際に見てもらって中学校入学への意欲を高めてもらうことや、部活動を通して学校と地域の方々との交流を図ることも目標にしていました。2日間で1000人を超えるご来場があり、小学生の保護者の方からは、「中学生が優しく教えてくれてとてもいい時間を過ごせた」という感想をお聞きしました。イベントに協力してくれた皆さん、ありがとうございました。

さて、昨年、私が大きな関心をもったニュースの一つに、被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞したというものがありました。

日本は世界で唯一の被爆国です。1945年8月6日に広島に、8月9日に長崎に原子爆弾が投下されましたが、たった一発ずつの爆弾で広島では約20万人、長崎では約14万人が亡くなりました。被団協の長年にわたる核兵器の廃絶の訴えや被爆体験の証言、署名運動などの活動が国際的に高く評価されて、今回の受賞となりました。しかし、核兵器が二度と使用されないように核兵器のない世界を実現しようという被団協の訴えは、実現には到底至っていません。

現在、世界には12000発以上の核弾頭があると予想されています。アメリカ、ロシアがそれぞれ5000発以上を保有していますが、中国、イギリス、フランス、インドなども核保有国です。中でも、日本が最も警戒しなくてはならないのが、50発を保有しているとみられる北朝鮮です。テレビなどのニュースでは「北朝鮮からミサイルが発射されました」という情報がときどき流れます。北朝鮮は弾道ミサイルの発射を2022年に59回、2023年に25回行いました。また、これまで北朝鮮が発射したミサイルのうち、日本上空を通過したものは7件あり、Jアラートによる「国民保護に関する情報」が発令されました。

Jアラートは、正式には全国瞬時警報システムといいます。津波などの大規模災害や、他国から武力攻撃を受けた事態が発生した際に、緊急情報を住民に伝達するために使用されます。日本政府が緊急情報をつかんだ時には、その情報がすぐに全国の市町村に伝わり、市町村の防災行政無線が自動的に起動されてJアラートの警報が流れます。Jアラートの警報が鳴ったときには、屋外にいる場合は近くの建物の中や地下に避難してください。屋内にいる場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

北朝鮮から発射されたミサイルが日本に到達するのには、どれくらいの時間がかかるでしょうか。2016年2月7日に北朝鮮から発射された中距離弾道ミサイル「ノドン」が沖縄県上空を通過したのは、発射から10分後です。身を守るための行動は短い時間で、すばやく行うことが大切です。

いつミサイルが発射されるのかは、国際政治の動きと大きな関係があります。1950年に起きた朝鮮戦争以来、北朝鮮とアメリカは長年にわたって対立を続けてきました。75年も前に起きたこの戦争は現在停戦中で、まだ終結していません。2018年6月にアメリカのトランプ大統領は、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党総書記と史上初の米朝首脳会談を行い、直接対話により北朝鮮のミサイル実験の停止を約束しました。しかし、北朝鮮は自国の主張を通すために核兵器の開発をちらつかせてアメリカに揺さぶりをかけ、その後もミサイル発射訓練を続けています。

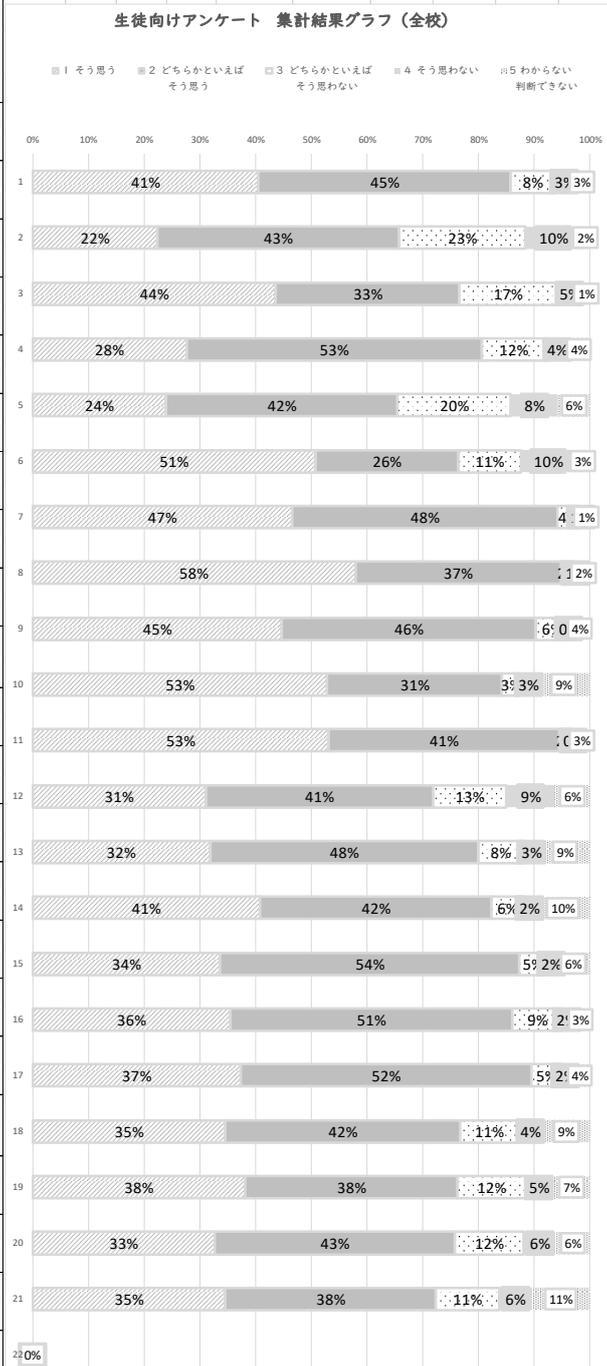
アメリカと同盟国である日本は、国内各地にアメリカ軍の基地があります。町田市の近くにもアメリカ軍の基地があり、この地域が北朝鮮からの攻撃の影響を受けてしまう可能性もゼロではありません。Jアラートについての避難訓練では、万が一のときに身の安全を守る行動を取ると同時に、日本を取り巻く国際情勢や、国際平和に向けた取組にも関心をもつようにしてほしいと思います。

(2025年1月8日 始業式の校長講話より)

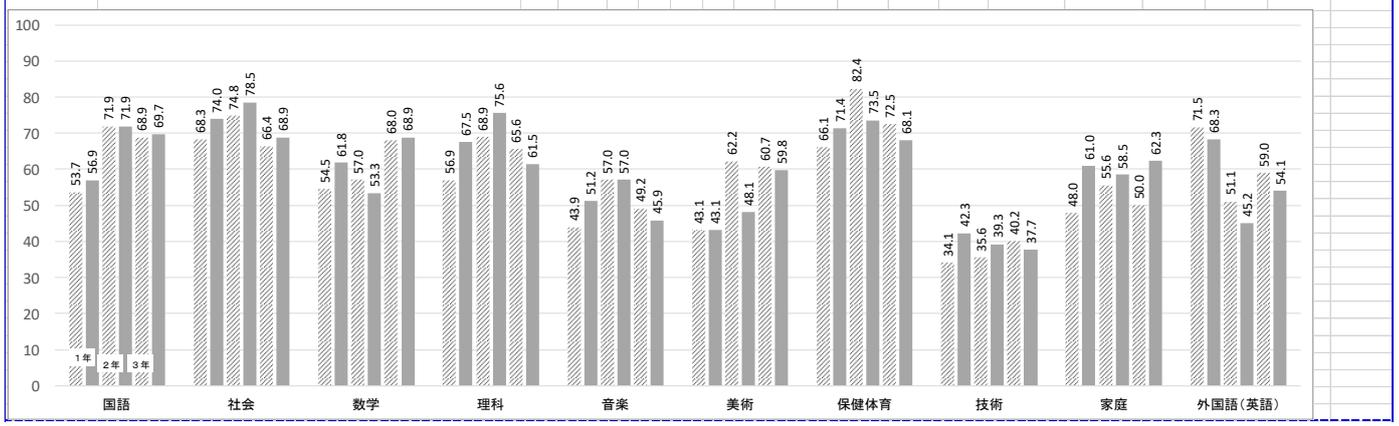
学校評価アンケート集計結果

1 全校生徒アンケート結果

全校（生徒）の評価項目回答集計結果							配布数	回収数	回収率	記名回答数	記名回答率
学 校 番 号	108						459	380	82.8%	380	100.0%
学 校 名	町田市立南成瀬中学校										
実施年月日	2024/11/18～22										
評価項目	1 そう 思う	2 ど ち ら か と い え ば	3 そ う 思 わ な い え ば	4 そ う 思 わ な い	5 判 断 で き な い	合 計 (人)					
(1) 各教科の基礎的・基本的なことが身に付いてきている。	154	172	30	13	11	380					
(2) 宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。	85	165	86	38	6	380					
(3) 朝読書などを活用し、すすんで読書をしている。	166	125	66	18	5	380					
(4) 道徳の授業は自分の心の成長につながっている。	105	201	44	15	15	380					
(5) 自分の将来の進路や生き方などを意識して学校生活を送っている。	91	158	77	32	22	380					
(6) 日常的に、運動やスポーツ（遊びや部活動を含む）に積極的に取り組んでいる。	193	97	43	37	10	380					
(7) 学校のきまりや、家庭でのきまりを守っている。	177	181	14	3	5	380					
(8) あいさつをきちんとしている。	220	140	9	2	9	380					
(9) 交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。	170	173	22	1	14	380					
(10) 部活動は、やりがいのある大切な活動になっている。	201	119	12	12	36	380					
(11) クロームブック、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。	202	157	9	1	11	380					
(12) 毎日学校に通うことを楽しみにしている。	118	155	50	33	24	380					
(13) あなたの学年では、一人一人の生徒が大切にされ、のびのびと活動できる雰囲気がある。	121	183	30	12	34	380					
(14) あなたの学年の先生には、生徒の気持ちを受けとめたり、生徒の相談に応じたりする姿勢がある。	155	158	21	9	37	380					
(15) 自分や他人を大切にし、たくましく生きる力が身に付いている。	128	204	18	7	23	380					
(16) 自ら考え判断し、行動する力が身に付いている。	135	192	34	6	13	380					
(17) きまりや規律を大切にし、社会性が身に付いている。	142	198	20	6	14	380					
(18) 数学の授業は、少人数のほうが発言や質問がしやすい。（2・3年のみ）	89	108	27	11	22	257					
(19) 数学の授業は、少人数で受けることで理解がしやすい。（2・3年のみ）	98	98	31	13	17	257					
(20) 英語の授業は、少人数のほうが発言や質問がしやすい。（2・3年のみ）	85	112	32	15	16	260					
(21) 英語の授業は、少人数で受けることで理解がしやすい。（2・3年のみ）	89	97	29	15	27	257					

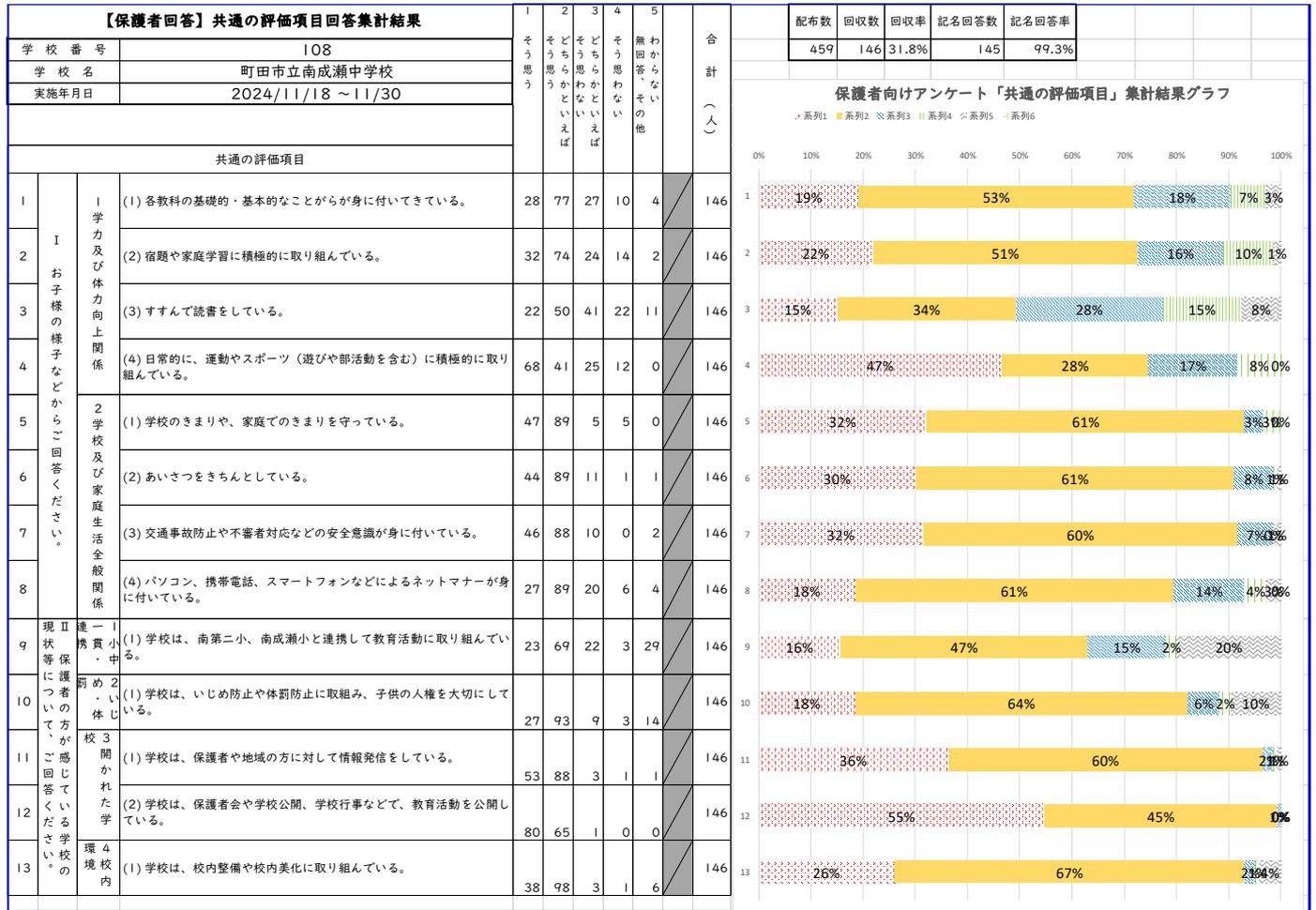


(22) あなたが授業が充実していて、前向きに取り組むことができていると思う教科をすべて選んでください。（左）
 (23) あなたが授業がわかりやすいと思う教科をすべて選んでください。（右）



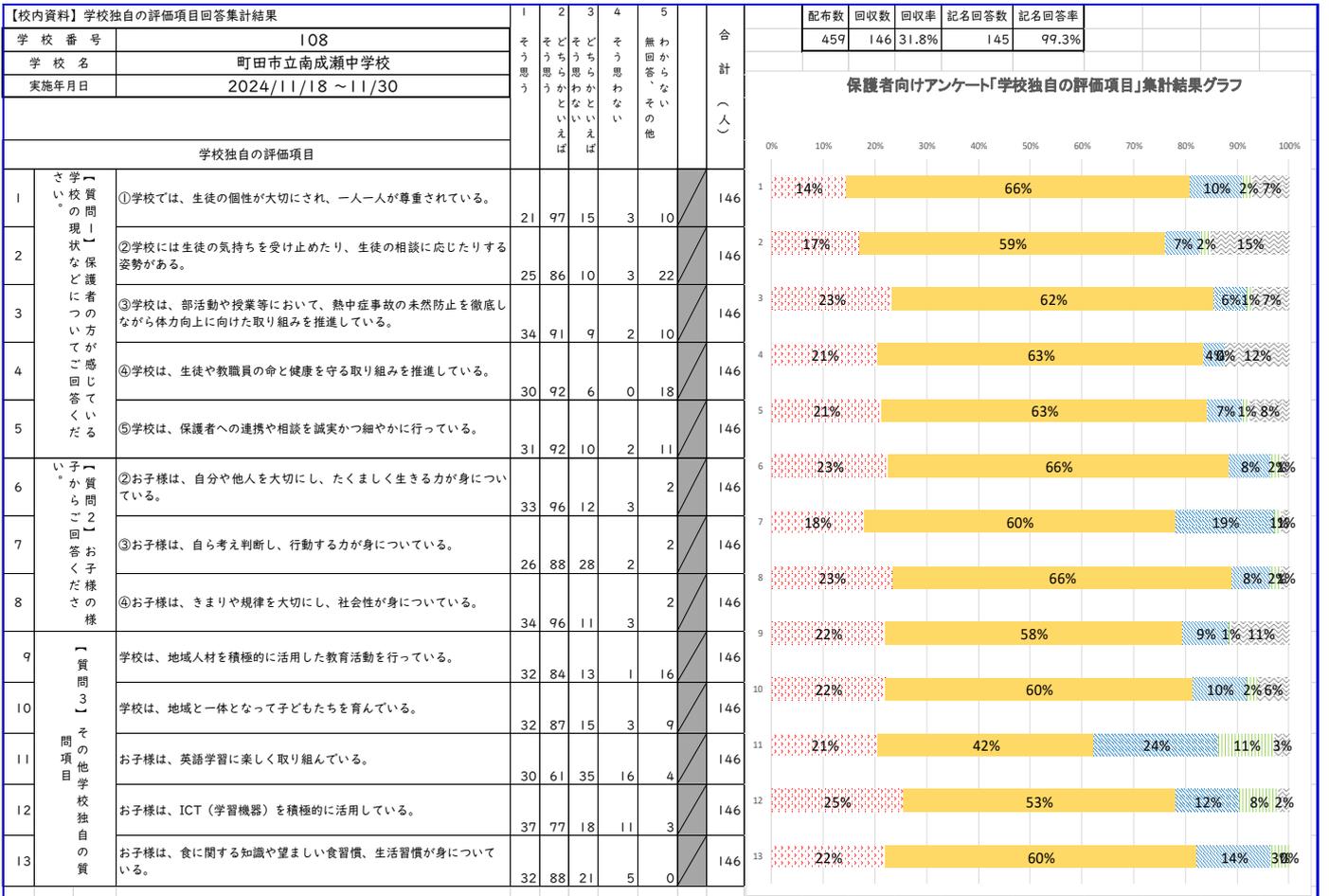
2 保護者アンケート（町田市共通評価項目）結果

★貴重なご意見ありがとうございました。



3 保護者アンケート（学校独自の評価項目）結果

★貴重なご意見ありがとうございました。



2024年11月に実施した「本校の教育活動に関するアンケート結果の分析」

①全校生徒アンケートについて

肯定的回答は多くの項目で70%以上でした。しかし以下の2項目については肯定的な評価が少ない結果となりました。

項目(2) 宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。(肯定的な評価:65%)

項目(5) 自分の将来の進路や生き方などを意識して学校生活を送っている。(肯定的な評価:66%)

・項目(2)について

生徒たちへは適宜、宿題・家庭学習の意義を伝え、未提出の場合は声掛けすることを3年間かけて継続していく必要があると考えます。これまでも行ってきましたが、改めて教職員全体で確認し、今後は一層徹底してまいります。また、保護者の皆様からの自由意見に、保護者が課題の状況を管理する場合にChromebookで提出する課題の把握が難しいというご意見がありました。こちらのご意見についての回答は、本校ホームページの「学校からのお知らせ」欄の『2024年度学校評価 保護者の皆様からの自由意見(回答)』でご確認ください。

・項目(5)について

1年生の「職業調べ」、2年生の「未来創造キャリア学習・職場体験」等の学習活動や「ボランティア・地域協働活動」への参加が生徒たちにとって自分の進路や生き方などに関係する機会となることをしっかり意識させる指導が十分にできていないと考えられます。これらの活動が、自分の将来にかかわる学習活動となることを生徒一人一人に意識させられるよう工夫した指導を行ってまいります。また、総合的な学習の時間等でゲストティーチャーを呼ぶなどし、様々な職業について学ぶ機会を設定できればと考えています。

②保護者アンケートについて

肯定的回答は多くの項目で70%以上でした。しかし以下の3項目については肯定的な評価が少ない結果となりました。

【共通】項目(3) すすんで読書をしている。(肯定的な評価:49%)

【共通】項目(9) 学校は、南第二小、南成瀬小と連携して教育活動に取り組んでいる。(肯定的な評価:63%)

【独自】項目(11) お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。(肯定的な評価:63%)

・町田市中学校共通の評価項目の(3)について

全校生徒アンケート評価項目(3)にあるように77%の生徒が肯定的な評価をしており、保護者の評価と大きく乖離しております。学校での朝読書の時間ではほぼ毎日生徒は読書をしているが家庭では読書をしていないと考えられる結果です。本校では「ビブリオバトル」という書評を行うイベントを各学年で行っております。また、今年度は図書委員会が「読書月間」などのキャンペーンを行い読書活動の推進を図ってきました。次年度も読書推進のための工夫を行ってまいります。

・町田市中学校共通の評価項目の(9)について

南第二小、南成瀬小とは年に2回、合同で学習指導や生徒指導についての研修会を行っています。また、必要に応じて各小学校から生徒についての情報を聞き取ることもあり、可能な範囲で情報を共有しております。昨年度からは部活動フェスタを開催し、小学生が部活動を見学・体験する機会を設けています。次年度は今年度以上にどういった連携ができるか小学校と協議して模索してまいります。

・学校独自の評価項目の(11)について

英語の授業では、定期考査や受験のための英語学習だけではなく、将来、社会で通用する身近で実用的な英語を楽しく学ぶ指導を心がけてまいります。また、卒業までに実用英語技能検定(英検)3級以上の取得を生徒たちに奨励し、英語に関心・意欲を持たせてまいります。今年度の英検3級以上取得生徒は、2024年12月時点で全校生徒の25.1%です。次年度はさらに増やしていきたいと考えております。

☆保護者の皆様からいただいた自由記述と学校からの回答は、本校のホームページ内の「学校からのお知らせ」欄にある「2024年度学校評価(南成瀬中学校 保護者の皆様からの自由意見)」に掲載しました。ご確認ください。